

議 事 録 (要 旨)

会議の名称	令和2年度第3回国民健康保険運営協議会	
開催日時	令和2年8月18日(火) 午後2時00分 開会 ・ 午後2時55分 閉会	
開催場所	市役所本庁舎7階 第5委員会室	
議長(委員長・会長)氏名	会 長 高橋 剛	
出席者(委員)氏名(人数)	副会長 市村 博子 委 員 宇津木 二郎 委 員 藤田 龍一 委 員 海沼 秀幸 委 員 田畑 たき子 委 員 柴田 潤一郎	委 員 宮岡 寛 委 員 田中 國廣 委 員 小室 万里 委 員 川口 知子 委 員 樋口 直喜 委 員 井上 昭夫 12人
欠席者(委員)氏名(人数)	委 員 新井 正司 委 員 笛木 栄 委 員 増田 俊和 委 員 天野 勉	委 員 島崎 賢一 委 員 得丸 幸夫 委 員 小川 俊夫 委 員 宮本 将彦 8人
議事録署名人	委 員 田中 國廣	委 員 海沼 秀幸
事務局職員氏名	保健医療部部长 財政部参事兼収税課長 収税課副課長 保健医療部副部长兼国民健康保険課長 国民健康保険課副課長 国民健康保険課主幹 国民健康保険課副主幹 国民健康保険課副主幹 国民健康保険課主事	神田 宏次 野村 哲 伊藤 淳子 松本 清一 米山 隆 勝村 則子 大津 靖久 利根川 晃 須ヶ間 紘人
会議次第	1 諮 問 2 市長挨拶 3 開 会 4 会長挨拶 5 議 題 (1) 保険税について (2) その他 6 閉 会	
配布資料	1 国民健康保険税率改定等スケジュール 2 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国民健康保険税の減免申請件数及び減免額等 3 保険給付費の執行状況について(令和2年度・令和元年度) 4 国民健康保険税収入状況の比較一覧	

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
部長	<p>1 諮 問</p> <p>○それでは、市長から当協議会に対しまして、川越市国民健康保険税の賦課限度額及び税率等の改定につきまして、諮問いたします。</p> <p>(市長 諮問書読み上げ)</p>
市長	<p>2 市長挨拶</p> <p>○川合市長から挨拶</p> <p>(市長退席)</p>
事務局	<p>3 開 会</p> <p>○会議資料の確認</p>
会長	<p>4 会長挨拶</p> <p>○高橋会長から挨拶</p> <p>○傍聴希望者の確認 (なし)</p> <p>○欠席委員報告</p> <p>○議事録署名委員指名 (田中委員、海沼委員)</p>
事務局	<p>5 議 題</p> <p>(1) 保険税について</p> <p>○事務局から資料に基づき説明</p> <p>○質疑</p>
委員	<p>前回、前々回と国保税の収納状況と保険給付費の状況を伺わせていただきました。今回お示しいただいた資料では2ヶ月遅れの状況が如実にあらわれているのではないかと思います。資料3の保険給付費の執行状況に関しまして、今年度はかなりの減免等の申請があり収入も減る見込みではありますが、最終的に収支は黒字になるのではないかとみているのですが、その点はどのようにとらえているのでしょうか。</p>
事務局	<p>保険給付費が減少しているということで、この傾向につきましては7月30日に国保中央会がだしているものとほぼ一致しておりますので、川越市の状況は全国と一緒に考えております。まだ最終的な結果</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員	<p>はでておりませんが、このまま保険給付費の減少傾向が進んでいきますと、確かに黒字になるということがございます。この黒字に関しまして、保険給付に係る費用はその全額を県からいただいておりますので、保険給付費が減少すると県の支出が少なくなるということです。一方で、市は県に保険事業費納付金としてお金を上納しておりますので、県の方にたまります。そのたまったお金に関しましては、翌々年度の保険事業費納付金の減算に使われるということを確認しておりますので、黒字分は川越市にたまるのではなく、県の方にたまったお金がいずれ川越市にしっかりと戻ってくるということがございます。</p> <p>今年度は黒字になることが明らかになりつつあるのではないかと思います。その分が翌々年度になって戻ってくる、県に納める金額が低くなるというご説明だったかと思いますが、やはり状況をしっかりと見ていかなければいけないとこの資料を見て改めて考えさせられました。今朝の新聞でも国の経済の動向が発表になりまして、GDP比でマイナス27%の落ち込みということで、今後の経済の先行きが案じられます。先ほど、「国民健康保険税改定に係る基本的な考え方」を改めてご説明いただきましたが、平成30年度に作成した計画を予定どおり着々と実行していくということかと思えます。しかし、経済や現在の国保の状況を見る限り、予定どおり着々と実行していく情勢ではないと考えられます。この資料からもそれが分かるのではないかと感じました。改めまして、国保税の収納状況について伺います。先ほどのご説明では滞納繰越分を含めると前年度よりも若干上がっているということですが、現年分ではどうかということとマイナスになっていると思われまます。国保の加入者が減っている中で収入未済額も増えております。どういった理由でこのような状況になっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>収入未済額が増えている理由についてご説明させていただきます。収税課では収入未済額の圧縮に取り組んでいるところでございますが、現状では滞納繰越分に力を注ぐかたちになっておりまして、なかなか現年分にまで手が及ぶ状況ではなかったわけでございます。ただ、ここ何年か滞納繰越分に力を入れてきた関係もあり、以前と比べますとだいぶ収入未済額の滞納繰越分が減ってきております。また、今年の1月から新しい税の総合システムが導入され、大幅に事務の効率化が図られている状況でありまして、今年度以降少しづつではありますが、現年対応にも力をいれていきたいと考えているところでございます。できるだけ早期に滞納者と接触をし、早め早めの対応を心がけ</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員	<p>る中で、現年分の収入未済額につきましても極力少なくしていく努力をしてまいります。滞納整理方針の中でも、そういったことを打ち出して、課をあげて取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解賜ればと思っております。</p> <p>滞納繰越分の整理に力を入れてきた関係で現年分の整理が遅れているという説明だったかと思われまます。県内には 63 の市町村がありますが、他市町村では収入の激減や失業等によって経済的困窮に陥ったことによる不納欠損が多いのですが、川越市はその部分が少ない状況であります。その理由について伺いたいと思います。やはり現年分を基本とし、今の納税義務者の収入状況をしっかりと見ていく必要があります。他市町村では収入増が見込めない高齢の方や病気等によって収入がなくなってしまった方を積極的に救済したり、他の福祉制度につなげたりしていく取り組みを実施していますが、川越市の場合は今の説明にもあったとおり滞納繰越分に力をいれてきたということで、それでは新たな滞納者が増えていくだけのいたちごっこ状態になってしまいます。そのため、少し方針転換をして現年分に光をあてていくといった方が、今困っている人を救済するという点では有効にはたらくのではないかと思われまます。他市町村のそういった部分も踏まえたうえで、川越市の収納率が向上するようもう少し踏み込んだ取組をぜひお願いしたいと思います。特に今年はコロナの関係で経済が悪化しておりますので、しっかりと進めていただければと思いま</p>
事務局	<p>委員さんのご指摘のとおりでございまして、これまで差し押さえを重点的に行い、執行停止は二の次になってしまっていたというのも事実でございまして。ただ、今年度は滞納整理方針の中でも、柱の 1 つとして執行停止をしっかりとやっつけていこうという点を全面的にかかげました。新型コロナウイルスの関係もあり生活に困窮されている方が増えているのも数字から見て取れ、そのような中で納税をしていただくのも非常に困難な状況であります。結果としてそういった方々の滞納整理が進まずに累積していくという悪循環に陥る可能性がありますので、やはりしっかりと調査をし、「差し押さえができない」あるいは「仮に差し押さえができたとしても、それをやると確実に生活困窮になってしまうと見込まれる」場合には、地方税法に則ったうえで、執行停止の基準に照らし合わせて、落としていくというのも収納率をあげる手段の 1 つとして認識しております。今年度はそういった点も踏まえて、これまでとは違う切り口で取り組んでまいりたいと思いま</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
委員	<p>す。</p> <p>ぜひお願いしたいと思います。最後になりますが、川越市は生活困窮を理由とする執行停止が他市町村よりも少ない状況でして、そうすると川越市は比較的収入の多い方が滞納となっているのかとも考えられてしまいますが、収入や所得の状況別の滞納者の分布はどのようなになっているか把握されておりますでしょうか。</p>
事務局	<p>ただいまご質問いただいた点につきまして、具体的にどのような分布になっているか把握しているものはございません。川越市の執行停止の基準が他市町村と比べて厳しいかという点は何とも言えませんが、他市町村との情報交換の場などもありますので、「こういった場合には執行停止とする」といったような共通認識を構築しつつ、積極的に取り組んでまいりたいと思います。</p>
事務局	<p>何点か補足で説明をさせていただきます。収納率に関しましては、委員さんのおっしゃられるとおりでして、埼玉県の実績の中で18ページのところで現年分の滞納をいかに解消していくかが課題として挙げられています。また、予定収納率に関しまして、川越市の被保険者数がこのまま減少し5万人を下回ってしまいますと、集めるべき目標の収納率が92%となります。そのため、国民健康保険課としましても収税課とともに、口座振替の推進等の取組を引き続きしっかりと実施してまいりたいと考えております。</p>
会長	<p>先ほど、資料1で今後のスケジュールについてご説明がございましたが、事務局から何かありますでしょうか？</p>
事務局	<p>次回の議論に向けて、何か資料として希望されるもの、調査をしてもらいたいもの等がありましたら、本日おっしゃっていただき、よろしければ次回10月6日の運営協議会でその部分について議論を進めていただき、方向性を定めていただけますと幸いです。</p>
委員	<p>資料について1点お願いがあります。現在、社会保険も国民健康保険も保険料がどんどん上がっている状況だと思われそうですが、保険者ごとの所得状況別にみた保険料の違いを見てみたいと思いますので、それが分かる資料を要求させていただきます。</p>
事務局	<p>それでは、保険者ごとの比較ということで、国の方の資料で加入者</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
会長	<p>1人あたりの平均所得や保険料等がまとめられたものがありますので用意をさせていただきます。また、川越市の国民健康保険の所得状況別の資料も併せてお示しできたらと思います。</p> <p>ほかに質疑はございませんか。</p> <p>(なし)</p>
事務局	<p>(2)その他</p> <p>○事務局から説明</p> <p>第2回運営協議会の資料11で、算出根拠欄の記載に誤りがありましたので、訂正後の資料をお配りさせていただきましたので、ご確認いただければと思います。また、次回の運営協議会(第4回)ですが、10月6日(火)14時からつばさ館にて開催させていただきます。開催通知は後日お送りさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>○質疑(なし)</p> <p>6 閉会</p> <p>○副会長から閉会のあいさつ</p>